

## 第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成30年5月12日（土） 10時～12時
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 17人
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職13名
- 懇談要旨

市民：一つお願いがあります布佐南自治会地区の線路側の印西寄りの地区の下水道の整備をしていただきたい。

この地区は、すぐ近くに汚水処理場があることや、若者の定住化を進めることや税金の不公平感の無いようにしていただきたいです。

建設部長：ごもっともな意見だと思います。しかしながら下水道事業は、国の補助金をいただきながら進めている事業ですので、ここでお約束することはできないのですが、市といたしましても、若者の定住化・成田線の活性化のためにも進めていきたいと考えております。今後、財政課や企画課などと協議して国に要望していきたいと思っております。

市長：ふれあい懇談会を開くと下水道整備の要望は必ず伺っております。市内には湖北駅前や天王台地区など整備されていない地区がまだまだあります。

まずは、市街化地区の未整備なところから出来るだけ不公平感の無いよう整備を進めていきたいと思っておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。

市民：LED化した町会の電気料負担を昨年は31年度からの予算としていたが、先ほどの市長の説明では32年度からの話だったがどうなのか。

上町自治会では、独居老人を見守っていく為に、会員40名で高齢者ボランティア活動をしているが、具体的な方法をご指導願いたい。

最後に、宮の森公園のすべり台やブランコの周りの土が削れて危険なので早急に砂を入れてもらいたい。

市長：LED化した街路灯の電気料の市負担への移行は、現在東電と協議しています。その中で東電への切り替え時期は、年度の切り替えのタイミングでお願いしたい。来年度（31年度）からの分は、9月を期限としてますがそれ以降については、その次の年度からとなります。ただし施設の所有権は自治会のままです。

独居老人の問題はなかなか難しいです。現在は、自治会や民生委員の皆さんによる見守りしかないと思っています。民生委員の方も家の中まで入っていくことは中々できません。声掛けをしても返事がない事が多く苦慮しているところです。

市といたしましても郵便局や新聞店などに協力をいただき異変に気が付いたら市に情報をいただいています。

なかなか良い案はないのが現状ですが、地域の皆さんと協力していかなければと思います。

都市部長：公園のブランコやすべり台の下は削れやすいと思っています。手当として砂を入れるだけでいいのか、他の方法が良いのか自治会と話し合いながらやっていきたいと思っています。

市長：公園についてはもう少し検討させていただき、砂が良いのか他の現場で出た良質の土でいいのか、あまり費用の掛からないよう担当課でも検討し対応させていただきます。

市民：布佐地区自治会連合会では、これまで4回ほど防災訓練を実施しております。今年も実施する予定ですのでぜひ市の担当者の方にも参加していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

市長：市内各地区で自治会単位で避難訓練を実施していきまして、声がかかれば出させてもらっていますので、担当に日程など決まりましたら連絡してください。

市民生活部長：布佐連合会には過去2回ほど参加させていただきました。依頼いただければ参加いたしますのでよろしくお願いいたします。

市民：水害対策について伺います。布佐のポンプ場のおかげで西町・大和町地区は水害がなくなりました。しかし上町地区はいまだに郵便局あたりの7～8軒は床下浸水になっています。今回の工事が終われば水害が無くなるのか、また、いつ頃までかかるのでしょうか。

建設部長：最終的には平成38年までの9年間で予定しています。その間に旧社協のあった土地に賃貸借契約を結び、今年の8月に入札して年度内に1,000m<sup>3</sup>の調整池を暫定的に整備する予定です。

市長：この工事は1年で終わる工事ではありません。そのため暫定ではありますが、調整池を整備して水を逃がしながら下流から順に進めていきたいと計画しています。

市民：県の施設の終末処理場についてですが、現在の進捗状況と、今後の予定を教えてください。

建設部長：先日下水道事務所の所長に、話を聞いてまいりました。今年度中に、第1沈殿池11個の池の設計を行い、そのうちの2個を、今年度中に着工をしていくとお約束いただきました。今後、今月末に開かれる7市の協議会で、各市に説明をして正式に決まるのではないかと思います。

市民：重点事業として、今後その進捗状況を継続的に説明していただけないか、お願いしたいと思います。

市長：分かりました。今後布佐地区でのふれあい懇談会では、先に説明をするこ

ととし分かりやすい資料を作らせていただきます。

市 民：人口の減少は全国的な傾向ですが、我孫子市においては特に東西格差がひどく、東側布佐地区では子供たちのスポーツチームや自治会の存続も危ぶまれています。市として何か改善策があるようでしたらぜひお話しいただき、自治会のみんなに伝えたいと思います。

布佐自治会連合会と布佐平和台自治会との合同で避難訓練を実施する話がありました。知りませんでした。

市 長：お話のとおり全国的な減少で我孫子だけの問題ではないです。しかし、東日本大震災時より被災地となり住めなくなった住宅が特に布佐・都地区について、早めに急激な人口減少が進んできました。3・4年後には、落ち着きましたが、ここ6年ほど出生も1,000人以下で昨年は、770人、とうとう800人を切りました。

昨年の人口は、200人程度減少しました。

市としては、若い世代の定住化を図るために、住宅取得補助金（東側に手厚く）や結婚相談事業など取り組んでいます、多少の効果は出ていますが、西側地区がほとんどで、まだまだ東側への誘導には至っておりません。今後も、新木踏切の道路改修や交通の利便性向上などに取り組んでまいります。

市民生活部長：防災訓練につきましては、他の訓練も見るという点で協力していただければと思います。

市 民：資料1ページの手賀沼親水広場の充実の予算で、じゃぶじゃぶ池と農産物直売所への支援と分けて教えてほしい。

資料4ページの放射能対策の予算の内訳を教えてください。

経済環境部長：放射能対策につきましては、ほとんどクリーンセンターの処分費用となります。この予算につきましては、放射能対策経費として東京電力に請求し、

認められれば返ってきています。

市長：現在は学校関係などはそれほど大きな額になっていません。請求は先ず国に行い、国が払わなかった部分を東電に請求しておりますので2重請求はしていません。職員の人件費以外は、返ってきています。

企画財政部長：手賀沼親水広場の充実の予算につきましては、全額親水広場委託料となります。じゃぶじゃぶ池の設計は昨年度実施していきまして、今年度は、その設計をもとに検討します。また、農産物直売所については含まれていません。

市民：1 ページに井上家住宅の予算があります。中に入った人数の把握をしていないことや、広い駐車場にトイレを整備したり、一服出来るように整備し、いろいろなイベントをぜひ開いてもらいたい。

自殺対策事業について、我孫子市としてやらなければならない実情を教えてください。

市長：井上家住宅ですが江戸末期から明治にかけての非常に文化的価値の高い建物です。老朽化もかなり進んでいるため一般開放するには、きちんと改修してからとなります。ただし、予算の範囲内で少しずつ進めていきます。

自殺対策についてですが、我孫子の場合、10代・20代の若い人の自殺はなくて、50代から高齢者に近くなってきた年代の方々の自殺対策をどうするのかというのが我孫子市の実状です。